

「ナチスに抵抗した人々」 シリーズ第2回



抵抗はどこまで可能だったのか —その現実と戦後の解釈

講師

武井 彩佳氏

(学習院女子大学国際文化交流学部教授)

講師略歴：

早稲田大学文学研究科史学科博士課程修了。博士（文学）。早稲田大学法学部助手を経て、2018年より現職。専門はドイツ現代史、ホロコースト研究。著書に『戦後ドイツのユダヤ人』『ユダヤ人財産はだれのものか』『和解のリアルポリティクス』、訳書に『ホロコースト・スタディーズ』などがある。

非暴力を掲げナチスに反対するビラを作成して逮捕・処刑されたミュンヘン大学の学生ハンス・ショルとゾフィー・ショルの兄妹による「白バラ抵抗運動」。また犠牲者側であるユダヤ人による抵抗から、戦後における解釈の問題まで、この分野の第一人者にご講演いただきます。

日時

2021年1月8日（金）11：05-12：35

開催
形式

オンライン(Zoomミーティング使用)

※ 学内者限定講演会です。

PORTAにてZoom情報を掲載しています

学内者限定

